

吟詠

心、年老いて消沈し、晩年
肉、若くして我を引きずる

いずれに従うべきや
いずれを見捨つべきや

この闘争のうちに何が死するや
この剥離のうちに何が残るや

よぼよぼとした足取りは往来に停まらず
激しき怒りは憂愁の中に沈んで熱く

何者も我が身に統一を与えず
ただ、漂うまま流れ去るのみ

如何にして、ああ如何にして

如何にして^{とど}め得んや

(1982.5.20)